



東京都

おうめし 青梅市

青梅市まち・ひと・しごと創生～あそぼうよ！青梅プロジェクト～

企業版ふるさと納税 重点3事業

おうめで実現 My Home, My Ome ～移住・定住促進事業～

「おうめをおもいだす、みつける」から「おうめでくらす」の5つの段階に応じた様々な移住・定住促進施策に取り組むことで、多様な定住者が増えることにより、定住者を通じてさらに本市の魅力が発信されるという好循環（＝「おうめサイクル」）を生み出していきます。

寄附金の使い道は、おうめサイクルにもとづいた、シティプロモーションや移住相談窓口の設置、移住体験モニターツアーなどの移住定住施策に充てさせていただきます。

担当 地域経済部シティプロモーション課
mail div2070@city.ome.lg.jp



おうめ観光戦略プロジェクト アクションプラン

本市は、巨大市場である東京の都心から約1時間というアクセス性の良い立地にありながら、都心部において観光地としての青梅が十分に認知されておらず、都心ファミリー層や若いZ世代など新しい観光客を如何に増やしていくかが課題となっています。

また、観光客の旅行に対する意識にも変化が起きており、マイクロツーリズムが隆盛するなど観光形態も大きく変化しています。

これらの変化に対応するため、これまでの観光施策から転換し、新たな観光地づくりに取り組んでいく必要があります。

そのため、皆様からの寄附金は、新しい観光計画を策定するための基礎調査や都心部の新たな観光客層へ向けた春季プロモーション動画の作成などに充てさせていただきます。

担当 地域経済部シティプロモーション課
mail div2070@city.ome.lg.jp



青梅市吉川英治記念館応援事業

『宮本武蔵』や『三国志』などの名作を執筆した、国民文学作家・吉川英治が、戦時中の昭和19（1944）年3月から昭和28（1953）年8月まで暮らした母屋が、現在でも青梅市内に保存されています。

青梅市は、名誉市民である吉川英治の功績を顕彰するとともに、数多くの貴重な資料を後世へ伝えるため、記念館の寄附を受け、令和2（2020）年9月7日に「青梅市吉川英治記念館」として再オープンいたしました。

寄附金の使い道は、母屋や離れなどの明治期に建てられた建物や資料館を含めた敷地内の施設整備や運営に充てさせていただきます。

担当 生涯学習部文化課
mail div7520@city.ome.lg.jp

